

主な内容

いま、食育を考える …… P2～3
男鹿市スポーツ賞 …… P4
都市ガスの安全について …… P5
まちのHOT NEWS …… P6～7
くらしの情報 …… P8～11
ふるさと地名散歩 …… P12



ゲーム・体験で楽しい一日

1月27日に行われた「子どもお楽しみ大会」。保護者たち手作りのダーツや射的などのゲームのほか、男鹿市生涯学習奨励員による体験学習・携帯ストラップ作りもあり、楽しい一日になりました。

いま、食育を考える



あなたは、自分の「食」について考えたことがありますか？「食」は、私たちが生きていくうえで必要不可欠なものです。生涯にわたり健康づくりの基礎となる「食」について、改めていま考えてみませんか？

食育とは？

私たち一人ひとりが、自分の食について考える習慣をつけて、生涯にわたり健全で安心な食生活ができる力を身につけていくことです。

特に子どもたちに対する食育は、心身の成長・人格の形成に大きな影響を及ぼします。子どもたちは、家族や友人と会話を楽しみながら食事を楽しむ中で、バランスの良い食生活や、食事のマナーなど適切な食習慣を身につけます。食に関する知識は、大人の言動が子どもたちに影響するところが大きいため、まず大人が食に対する正しい知識を身につけなければなりません。子どもへの食育を通じて大人自身もその食生活を見直すことができ、食育はあらゆる世代に関係してくるものなのです。

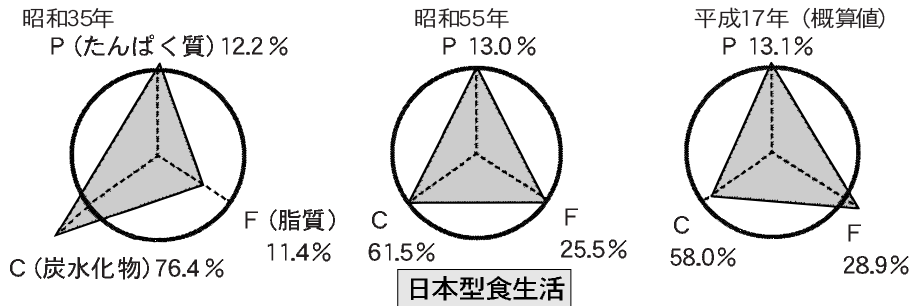
●食育で身につけたい「5つの力」

- 1 **食べ物を選択する力**
食事は主食・主菜・副菜を揃える。
- 2 **味が分かる力**
五感でおいしさを知る。
- 3 **料理ができる力**
実際に料理し、食の楽しさを知る。
- 4 **食べ物の命を感じ、感謝する力**
野菜などを育て、食べ物の大切さを知る。
- 5 **元気な体が分かる力**
虫歯・運動不足などに気をつけ、規則正しい生活を送る。

なぜ、いま食育なのか？

それでは、なぜ、いま食育が求められているのでしょうか。生涯を通じて、健全で安心な食生活を実現するためには、食品の安全性・食事と病気との関係・食品の栄養やその組み合わせ方・地域の食材を使った料理など、食に関するあらゆる

表-1 栄養バランスの変化



適正比率：P (たんぱく質) 13%、F (脂質) 27%、C (炭水化物) 60%
食料・農業・農村基本計画における平成22年度の目標値 (供給ベース)
資料：農林水産省「食料需給表」

ゆるることを理解することが必要です。しかし、近年、ライフスタイルの多様化や日常生活の忙しさにより、食の大切さに対する意識が薄れ、私たちの食は大きく変わってきました。外食や調理食品の利用が増え、家族だんらんの食事が減り、主に若い人や子どもたちの朝食の欠食・栄養の偏りなど食生活の乱れが進み(表1-1)、健全な食生活が失われつつあります。今話題のメタボリックシンドロームも食生活が多大な影響を与えています。「肥満」「糖尿病」「骨粗しょう症」。乱れた食生活が私たちの健康にもたらすものは、数知れませんが、また、食に関する情報があふれかえる現在、その中から正しい情報を適切に選んで食生活に生かすことも必要になってきています。

これらを改善するためには、食育が大きな役割を果たします。普段から家庭や学校生活などの中で、さまざまな経験を通して「食」について学び、生きるうえで基本をしっかりと身につけることで、健全な食生活の実践が可能になります。食育の時間をコミュニケーションの場にして「食」を楽しむことで、体だけでなく心の健康にもつながります。忙しい時代だからこそ、私たち一人ひとりが「食」の大切さを自覚しなければいけないのです。

「食」への感謝を忘れずに

現在、世界には8億人を超える人々が、栄養不足で苦しんでいます。その一方で、私たちの周りには食品が豊富に存在し、当たり前であるかのように、食べ残しや賞味期限切れなどで食品を廃棄しています（表1）。

食品が周りにあふれ、ものを大切に思う「もったいない」の気持ちが薄れていませんか。食品が私たちの手元に届くまでに、生産者をはじめ加工や流通など、たくさんの人々の苦勞と努力、そして自然の恵みがあることを忘れてはいけません。本当に必要なものかどうかを見きわめて資源の浪費を防ぎ、環境に負担をかけないようにすることが大切です。世界中には食べたくても食べられない

市内の幼稚園・保育園でも食育が進められています

よい食習慣を身につけるためには、幼児期からの望ましい食習慣づくりが大切です。

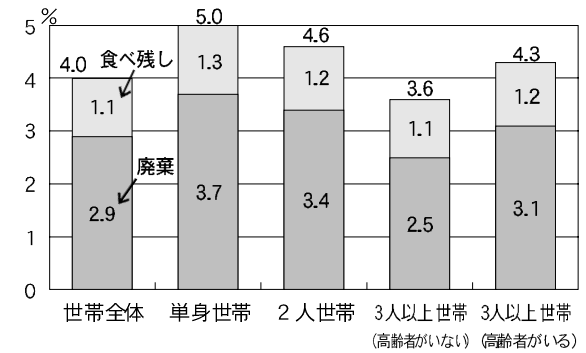
市内の幼稚園・保育園では、食べ物の生命を感じ、感謝の気持ちをもつ力を養う「収穫体験」や、実際に料理を作り、食に関する知識と理解を深める「調理体験」などを行って、食育を進めています。



▲真っ赤に熟れたトマトを収穫。自然の恵みや食べ物の生命を感じ、感謝の心を養います。

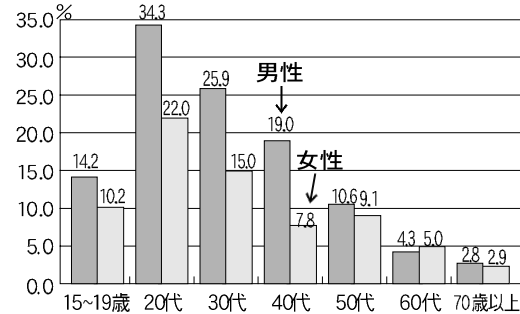
ずに困っている人もいます。私たちの食はたくさんの人に支えられていることを忘れずに「食」に対する感謝の気持ちや「もったいない」の気持ちを持ち続けていきましょう。

表-2 世帯における食品ロス率



資料：農林水産省「食品ロス統計調査」（平成17年度調査）

表-3 朝食欠食率



資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」（平成16年）
注）：「欠食」とは、国民栄養調査の調査日において「菓子・果物などのみ」、「錠剤などのみ」、「何も食べない」に該当した場合をいう。

朝ごはんが一日がスタート！

皆さんは朝ごはんをきちんと食べていますか。朝食の欠食率については、男女ともに20代がもっとも多く、ついで30代が高くなっています（表1）。

朝食をとらないと、エネルギー不足で体調が悪くなったり、1回の食量・間食が多くなり、肥満などの生活習慣病につながったりします。そのため、子どものころから朝食をとる習慣をつけていくことが大切です。

朝ごはんが食べられない人は…

- ・ 遅い時間に夜食を食べない。
- ・ 寝る時間を早くする。
- ・ おにぎりなど、食べやすいものから食べる。

ちょっと心配な「こ食」が増加中！

- 孤食／一人で孤的な食事
- 固食／好きなもの、決まったものしか食べない
- 個食／個人がそれぞれ好きなものを食べる

これら3つの「こ食」は、栄養の偏りを招くだけでなく、食事が楽しいと感じられなくなり、ますます「食」を大切にする意識が失われてしまいます。

栄養バランスの取れた食事、食べ物をおいしく、楽しいと感じられる食事は、家族みんなでとる食事が大きい働きをします。心と体の健康のために、家族団らんの食事の場を大切にしましょう。

「食」に興味を持つ。これが食育の基本です。生涯を通じて私たちがかわってくる「食」をずっと楽しめるように、「食」に関心を持ち、自身の「食」を見つめなおしてみよう。



平成18年度 男鹿市スポーツ賞



本市のスポーツ振興に功績のあった方や、各種大会で優秀な成績を収めた方に贈られる、平成18年度男鹿市スポーツ賞の授賞式が2月3日行われました。

また、同席上では平成18年度国民体育大会「兵庫国体」に出場された方に、記念品の贈呈も行われました。受賞者は次の方々です。(敬称略)

功労賞



【男鹿市ラグビー協会副会長】
持田 雄二
(船川)



【若美陸上競技協会顧問】
中田 正好
(鵜木)

指導奨励賞

- 【男鹿市クレール射撃協会理事】
加藤 金良 (北浦)
- 【若美地区体育協会副会長】
川村 幸幡 (角間崎)
- 【脇本地区体育協会理事】
加藤 一男 (脇本)
- 【男鹿市陸上競技協会監事】
山王丸 峯雄 (脇本)
- 【男鹿市相撲連盟理事】
細井 春男 (船川)
- 【男鹿中地区体育協会副会長】
目黒 隆悦 (男鹿中)
- 【男鹿市サッカー協会理事】
安田 一彦 (北浦)
- 【船川南小野球スポーツ少年団監督】
夏井 正仁 (船川)

栄光賞(個人)

- 【ウエイトリフティング】
塚本 誠進 (北浦)
- 【空手道】
浅野 修 (戸賀)
- 【レスリング】
船木 尋仁 (払戸)
- 【サッカー】
瀧澤 優子 (船川)
- 【ラグビー】
安藤 大樹 (脇本)
佐藤 大栄 (脇本)
中川 祐司 (船越)
笹渕 賢一 (船川)
澤木 賢一 (船川)
安藤 陽 (船川)
吉田 建雄 (福川)
江畑 佳洋 (男鹿中)
齊藤 寛人 (船越)
夏井 大輔 (船川)
松井 大樹 (船川)
- 【フライングディスク】(障害者スポーツ)
畠山 金一 (若美荘)
- 【少林寺拳法】
京谷 哲徳 (野石)
和田 拓人 (野石)
加藤 大和 (脇本)
加藤 武士 (脇本)

栄光賞(団体)

- 【ラグビー】
男鹿東中学校

奨励賞(個人)

- 【クレール射撃】
山本 博平 (船越)
関向 勝 (北浦)
- 【相撲】
鈴木 千春 (船越)
鎌田 里歩 (北浦)
渡部 有騎 (五里合)
- 【空手道】
原田 真子 (戸賀)
- 【弓道】
伊藤 由佳子 (船川)
- 【ボウリング】
池田 美樹 (脇本)
- 【野球】
加賀谷 俊輔 (北浦)
三浦 貴司 (脇本)
笹川 優吾 (男鹿中)
- 【柔道】
近藤 俊 (野石)
吉田 剛 (払戸)
鎌田 泰武 (払戸)
船木 奈津子 (払戸)
- 【卓球】
加藤 祐也 (船川)
加藤 夏海 (船川)
- 【陸上】(障害者スポーツ)
中山 初子 (玉の池荘)
- 【ボウリング】(障害者スポーツ)
新帯 誠 (玉の池荘)
大淵 リエ子 (玉の池荘)
- 【フライングディスク】(障害者スポーツ)
鈴木 芳美 (若美荘)
佐々木 行雄 (若美荘)
菅原 誠作 (若美荘)
前川 悦子 (ひまわり苑)

奨励賞(団体)

- 【柔道】
男鹿市柔道連盟Aチーム
- 【女子ソフトテニス】
男鹿東中学校

【ドッジボール】

野石ドンクシャーズ

【野球】

船川南小学校野球スポーツ少年団

【少林寺拳法】

少林寺拳法秋田若美支部

【ラグビー】

脇本おいばなラグビースクール

平成18年度国民体育大会 「兵庫国体」出場者

【ウエイトリフティング】

夏井 武美 (船川)
齊藤 博史 (船川)
塚本 誠進 (北浦)

【クレール射撃】

山本 博平 (脇本)
関向 勝 (船越)

【ラグビー】

安藤 大樹 (脇本)
佐藤 大栄 (脇本)
中川 祐司 (船越)
笹渕 賢一 (船川)
澤木 賢一 (船川)
安藤 陽 (船川)
吉田 建雄 (福川)
江畑 佳洋 (男鹿中)
齊藤 寛人 (船越)
夏井 大輔 (船川)
松井 大樹 (船川)

【空手道】

原田 真子 (戸賀)
浅野 修 (戸賀)

【相撲】

鈴木 千春 (船越)

【ボウリング】

池田 美樹 (脇本)

平成18年度全国障害者 スポーツ大会出場者

【フライングディスク】

畠山 金一 (若美荘)

【ボウリング】

藤原 正子 (玉の池荘)
石塚 和子 (玉の池荘)

都市ガスの安全について

1月17日、北海道北見市でガス漏れによる一酸化炭素中毒で、3名の方が亡くなる事故が発生しました。現在、市で供給している都市ガス

は、一酸化炭素を含まない天然ガスで、ガス漏れによる一酸化炭素中毒の恐れはありませんが、ガスの臭いがある時は、ガス漏れが発生している可能性がありますので、危険防止のため次のことを実施していただき、企業局までご連絡ください。

ガス臭いと感じたら

①火気は厳禁

タバコもすぐに消す。



②着火源に触れない

換気扇や電灯などのスイッチには絶対に手を触れない。



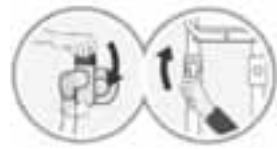
③窓を開ける

窓や戸を大きく開けて、部屋の空気を入れ替える。



④ガス栓の閉止

ガス栓、メーターガス栓を閉める。



⑤企業局へ連絡

住所、氏名、電話番号を、企業局までご連絡ください。

ガスについてのお問い合わせ

・男鹿市企業局営業係 ☎46-4104 (日中)
・男鹿ガス製造所 ☎25-4342 (夜間・休日)

一酸化炭素中毒

一酸化炭素(CO)は、無色・無臭で毒性の強い気体です。少量でも吸うと、頭痛や吐き気、気分が悪くなるなど、風邪によく似た症状が現れます。症状が重くなると手足がしびれて動けなくなり、意識不明になるなどして死に至ることがあります。

日ごろから正しい使用を

換気不足の室内や、煙突等給排気設備が不足な状態でガス機器を使用した場合は、不完全燃焼により一酸化炭素が発生する可能性があります。日ごろから正しいガス機器のご利用をお願いします。

★わが家のアイドル★



加藤 莉瑚ちゃん (野石)
えいきち 瑛吉くん

弟思いのお姉ちゃん、やんちゃ盛りの瑛吉。けんかもするけど仲良しの二人。これからも元気いっぱい大きくなってね。



秋山 幸多くん (船越)
つづき 続喜くん

毎日笑って泣いて、パワー全開の2人。これからも元気にすくすく育ってね。

皆様のご参加をお待ちしています

「わが家のアイドル」お子さん・お孫さんの写真にメッセージ(100字程度)を添えてお寄せください。「グループ・サークルPICK-UP」市内で活動している、グループやサークルなどの情報をお寄せください。

●応募先／

〒010-0595 男鹿市 船川港船川字泉台66の1
男鹿市企画政策課広報統計係
TEL 0185-23-2111 FAX 0185-23-2922
Eメール : p_relations@city.oga.akita.jp

▶ステージ上で行われた模擬面接。生徒たちは緊張しながらも、自己PRや自分の考えを述べました。



面接の極意と仕事への心構えを学ぶ

高校生就職活動サポートセミナー開催

2月2日、高校生の就職活動への意識を高めるために「高校生就職活動サポートセミナー」が行われ、市内2校の2年生と学校関係者など約300人が参加しました。

セミナーは、秋田マナウス有有限会社取締役の齋藤秀明氏を講師に迎え「面接試験の実際・模擬面接と自己アピールの仕方」の演題で講演しました。齋藤氏からは、これまでの自分の仕事や、面接試験に携わってきた経験から「企業が求める人材」「面接試験の意義と対応」など、貴重なアドバイスをいただきました。また「心の底から感謝する心を持つこと」「仕事に対しての前向きな姿勢」など「人間性」を高めることの重要性についても話されました。

このあと、参加者を代表して4名の生徒が講演から学んだことを活かして模擬面接を行いました。参加した高校生たちは、講演と模擬面接を通じて「仕事」に対しての心構えを新たにしていました。

2月2日、高校生の就職活動への意識を高めるために「高校生就職活動サポートセミナー」が行われ、市内2校の2年生と学校関係者など約300人が参加しました。

セミナーは、秋田マナウス有有限会社取締役の齋藤秀明氏を講師に迎え「面接試験の実際・模擬面接と自己アピールの仕方」の演題で講演しました。齋藤氏からは、これまでの自分の仕事や、面接試験に携わってきた経験から「企業が求める人材」「面接試験の意義と対応」など、貴重なアドバイスをいただきました。また「心の底から感謝する心を持つこと」「仕事に対しての前向きな姿勢」など「人間性」を高めることの重要性についても話されました。

このあと、参加者を代表して4名の生徒が講演から学んだことを活かして模擬面接を行いました。参加した高校生たちは、講演と模擬面接を通じて「仕事」に対しての心構えを新たにしていました。



▲「面接試験は一本勝負。自分の考えは結論から先に、分かりやすく」と、高校生にアドバイスしました。

外の寒さを吹き飛ばす

男鹿市雪合戦大会開催

1月27日、男鹿市総合体育館を会場に、市内のスポーツ少年団14チーム110名が参加して男鹿市雪合戦大会が行われました。

各チームとも十分に作戦を練って試合に臨み、コート上では、外の寒さを吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられていました。

結果は次の通りです。

- 1位／おいばなグリーンソックス
- 2位／北陽サッカーA
- 3位／鶴木フアイトーズ

特別賞／船川第一小ラグビーC
男鹿B & G わんぱく



▲この競技は、球をぶつけて相手チームをより多く退場させるか、相手コートのフラッグを取った方が勝ちになります。

安全で住みよい地域社会を目指して

防犯標語看板が寄贈されました



▲野石小と鶴木小の前には、子どもと大人に呼びかけた防犯看板が寄贈されました。(野石小)

1月30日、元男鹿地区防犯協会宮沢支部の皆さんから、防犯活動を管轄していた地区の、野石小学校と鶴木小学校に防犯標語看板が寄贈されました。

この看板には「子どもたちに安心を、地域の方々に防犯意識の高揚を」の願いが込められており、元支部長の佐藤孝男さんは「子どもは地域の宝。地域全体で子どもの見守り活動を展開し、安全で住みよいまちを目指したい」と話してくれました。



スクリーンに映し出される 男鹿の「自然・人・食」

「デコトラの鷺 〜愛と涙の男鹿半島〜」

映画から男鹿の魅力を発信

昨年、寒風山や入道崎など内各地で撮影が行われた映画「デコトラの鷺〜愛と涙の男鹿半島〜」。市では、この映画を通じて男鹿の自然や観光資源を全国に発信し、男鹿観光のイメージアップを図るため、佐藤助役を会長とする「デコトラの鷺」男鹿市ロケ支援委員会を設立して、映画制作の支援をしました。9月から始まった市内での撮影には、多くの市民がエキストラとして出演したほか、撮影ボランティアとして映画に参加しました。また、映画には「男鹿梨」「わかみメロン」「石焼料理」「ババヘラアイス」など、多彩な特産品も盛り込まれ、男鹿の「自然・人・食」魅力満載の映画が完成しました。

主演の哀川翔さんらを招いて特別上映会開催

2月4日、市民文化会館で、映画「デコトラの鷺〜愛と涙の男鹿半島〜」の特別上映会が行われ、スクリーンに映し出される、馴染みの風景や建物、エキストラとして熱演する市民の姿に、満員の会場から歓声が上がっていました。

またこの日は、出演した哀川翔さん、井上晴美さん、監督の香月秀之さんを招いてトークショーが行われ、撮影での裏話などに来場者は聞き入っていました。このあと「デコトラの鷺Tシャツ」やサイン入りポスターが当たる抽選会が行われ、幸運を手にした5名の方々が哀川さんらと一緒に記念撮影をしました。

上映会終了後には祝賀会が開かれ、哀川さんらをはじめ関係



者、多くの市民や映画ファンで完成を祝いました。

この映画は「親子愛」をテーマにし、笑いの中にも、今日の日本人が忘れかけている義理や人情、人との温かい繋がりを描いた感動作品になっています。皆さんも是非ご覧ください。



▲市内外からの来場者で会場は満席となり、立ち見ができるほどにぎわいました。



男鹿市公民館嘱託職員を募集

【職務内容】

公民館に勤務して、地域住民のために各種講座などを開設し、住民の教養の向上、健康の増進などに努める。

【募集人員】

1名

【勤務時間】

1週間あたり30時間

【報酬額】

月額11万3000円

※所得税・社会保険料などを含みます。通勤手当の支給はありません。

【任用期間】

平成19年4月1日～平成20年3月31日

※以後1年ごとの再任用とし、最長5年まで更新できます。ただし、年齢は65歳までとします。

【応募資格】

①男鹿市に住所を有し、採用後引き続き男鹿市に居住できる方。

②昭和21年4月2日以降平成元年4月1日までに生まれた方。

③高等学校卒業程度以上の教養および学力を有している方。

④普通自動車運転免許証を有し、パソコン操作ができる方。

※日本国籍を有しない方、地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当する方は応募できません。

【募集期間】 2月15日(木)～23日(金)

※土・日曜日は除く。郵送の場合は2月22日(木)の消印まで有効。

【試験日】 2月27日(火)10時～9時30分まで集合。(時間厳守)

【試験会場】 市役所若美庁舎会議室

【試験内容】 面接

【申し込み】 男鹿市公民館嘱託職員申込書と住民票1枚(世帯全員の写し)を生涯学習課へ提出

※申込書は、生涯学習課・各地区公民館にあります。

▼申し込み・郵送先・問い合わせ先

〒010-0493

男鹿市角間崎字家ノ下452

男鹿市教育委員会生涯学習課

☎46-4110

児童クラブの指導員を募集

【募集人員】

1名

【勤務場所】 船川児童クラブ

【勤務時間】 1週間あたり30時間

【報酬額】 月額12万2800円

※所得税・社会保険料などを含みます。通勤手当の支給はありません。

【任用期間】 平成19年4月1日～平成20年3月31日(更新も可能)

【応募資格】

①男鹿市に住所を有し、採用後引き続き男鹿市に居住できる方。

②昭和28年4月2日以降に生まれた方。

③教員・保育士・幼稚園教諭・児童

厚生員のいずれかの資格・免許を有する方。

【採否の判定】 書類審査および必要に応じて面接試験を行います。試験は3月上旬を予定しています。日時・場所は後日通知します。

【応募方法】 2月27日(火)まで申込書を子育て支援課に提出してください。※申込書は子育て支援課にあります。

【応募受付】 8時30分～17時まで。(土・日は除く)郵送は2月27日(火)の消印まで有効。

▼問い合わせ/子育て支援課

☎23-2111 内線1205

就学援助について

市では、経済的な理由によりお困りの方のために、学習に必要な費用を援助しています。

【申請方法】

「就学援助申請書」に必要事項を記入し、各小・中学校または学校教育

育課へ提出してください。

※「就学援助申請書」は、各小・中学校、学校教育課に用意しています。詳しくはお問い合わせください。

▼問い合わせ/学校教育課

☎46-4108

学校生活サポート事業非常勤職員を募集

【職務内容】小・中学校に勤務し、

障害などで特別な支援を必要とする児童生徒に学校生活の支援をする。

【募集人員】1名

【勤務時間】1週間あたり30時間

【勤務日数】年間180日程度

【報酬額】月額7240円

※所得税・社会保険料などを含みません。通勤手当を別途支給します。

【任用期間】平成19年4月1日～平成20年3月31日

【応募資格】

①男鹿市に住所を有する方。

②高等学校卒業程度以上の教養および学力を有する方。

③普通自動車運転免許証を有する方。

【募集期間】2月15日(木)～23日(金) ※土・日曜日は除く。郵送の場合は2月22日(木)の消印まで有効。

【試験日】2月27日(火)10時～9時30分まで集合。(時間厳守)

【試験会場】市役所若美庁舎会議室

【試験内容】面接

【申し込み】学校生活サポート事業非常勤職員申込書を学校教育課へ

※申込書は、学校教育課にあります。

▼申し込み・問い合わせ／学校教育課 ☎46-4108

男鹿市斎場嘱託職員の募集

【職務内容】市斎場に勤務し、火葬業務、斎場の管理運営、事務を行う。

【募集人員】1名

【報酬額】月額12万円

※所得税、社会保険料などを含みません。通勤手当の支給はありません。

【勤務時間】一月あたり138時間以内とし、火葬日時に割り振る

【休日】火葬のない日、1月1日

【任用期間】平成19年4月1日～平成20年3月31日(更新も可能)

【応募資格】

①男鹿市に住所を有し、採用後引き続き男鹿市に居住できる方。

②平成19年4月1日現在、40歳から65歳までの方。

③高等学校卒業程度以上の学歴を有していること。

【募集期間】2月15日(木)～22日(木)8時30分～17時(土・日除く)

※郵送は2月20日(火)の消印まで。

【試験日】2月23日(金)9時30分～9時までに第三会議室に集合。

【試験会場】市役所 第二委員会室

【試験内容】面接

【申し込み】申込用紙と住民票(世帯全員の写し)を環境防災課へ提出

※申込用紙は環境防災課にあります。

▼問い合わせ／環境防災課 ☎23-2111 内線2807

平成19・20年度男鹿市小規模工事等契約希望者登録申請の受付について

平成19年度、20年度に市が発注する小規模工事(建設工事や修繕など)等契約希望者の登録を受け付けします。希望者は、次により財政課入札契約係へ申請書を提出(郵送可)してください。

【受付期間】3月1日(木)～30日(金)8時30分～5時(土・日・祝日を除く)

【有効期間】平成19年4月1日～平成21年3月31日(2年間)

【登録できる方】男鹿市に主たる事業所(本社・本店)、または住所を有する方で、建設業許可の有無、経営組織、従業員数は問いません。

ただし、次に該当の方は除きます。

①契約を締結する能力を有しない方、破産者で復権を得ていない方。

②男鹿市建設業者等資格付名簿に登録されている方。

③希望業種を行うために必要な資格、免許を有しない方。

(例)電気工事：電気工事士 大工工事：技能士 など

【登録業種】3種類以内

【申請書類】申請書は、財政課入札契約係にある指定の様式が、男鹿市ホームページからダウンロードしたものを使用してください。

【添付書類】希望する業種を行うために必要な、資格・免許などを証明する書類の写し、納税証明書(市民税、固定資産税、国民健康保険税)

▼問い合わせ／財政課 ☎23-2111 内線3307

農業委員会委員選挙人名簿の縦覧

1月1日現在の、農業委員会委員の選挙人名簿を次の期間で縦覧します。

また、有権者で登録名簿の有無について異議のある方は、縦覧期間内に書面で異議の申し出ができます。

【縦覧期間】2月23日(金)～3月9日(金)

【縦覧場所】選挙管理委員会事務局 若美総合支所 地域振興課

▶問い合わせ／選挙管理委員会事務局 ☎23-2111 内線2502

贈らない! 求めない! 受け取らない!

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは法律で禁止されており、違反すると処罰されます。

また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。寄付禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。

募集

要約筆記奉仕員養成講座

耳の不自由な方と、コミュニケーションを図り理解を深めることを目的に、要約筆記奉仕員養成講座を開講します。

【日程】2月24日(土)～3月25日(日)まで計5回開講

※土・日曜日に開講します。

【会場】鴻上市天王公民館

【対象】県内在住で、これから要約筆記通訳者を目指す方

【受講料】無料

※ただし、テキスト代として1050円が必要です。

【申込期限】2月23日(金)

詳しくは、お問い合わせください。

▼申し込み・問い合わせ／秋田県身体障害者福祉協会

☎018-864-2780

農業研修センターで学ぼう

【手作り体験(米加工)】

日時／2月28日(水)13時30分
内容／米を使って巻きずしを学習します。

対象／農業者・一般20名

受講料／1000円

【園芸体験(洋ラン)】

日時／3月8日(木)13時30分

内容／洋ラン「シンビウム」の開花後の管理と植え替え法を学びます。

対象／農業者・一般20名

受講料／500円

【農業手作り作業体験(大豆加工)】

(大豆加工)

日時／3月9日(金)13時30分
内容／大豆を活用した、手作り豆腐の作り方を学びます。

対象／農業者・一般20名

受講料／1000円

▼申し込み・問い合わせ／農業研修センター

☎45-3113

秋田県オルガン奏者養成講座受講生の募集

アトリオン音楽ホールの、パイプオルガンの魅力に触れながらオルガン奏者に必要な知識や技術学ぶ講座の受講生を募集します。

【募集期限】3月20日(火)

【募集人員】

初級コース／約10名(2年間)
上級コース／若干名(2年間)
フォローアップコース／若干名(1年間)

※フォローアップコースは当講座終了後1年以上経過の方。

【審査オーディション】

4月15日(日)

【受講料】50000円

このほかの詳しいことは、

秋田アトリオン音楽事業部のホームページでもご覧になれます。

<http://www.atorion.co.jp/onga>

KV

▼問い合わせ／秋田アトリオン音楽事業部

☎018-836-7803

新築・全面的な改築をする方へ秋田スギ内装材をプレゼント

あきた県産材利用センターでは、秋田スギの需要拡大を図るため、秋田スギの内装材プレゼント事業を実施します。

【提供するの】秋田スギ内装材(壁面材、床材、天井材、廻り縁材など)

【提供戸数】一般枠50戸

※1戸あたりの内装材は216000円(税込み)を上限

【申込期間】2月26日(月)～3月19日(月)

【決定方法】予定戸数を超えた場合は、公開抽選会で決定します。予定戸数に満たない場合は、3月26日(月)から随時受け付けます。

▼問い合わせ／あきた県産材利用センター

☎018-837-8095

唱歌・童謡を歌う集い

あの頃(昭和30年代)小学校で習った歌を、ピアノの伴奏で25曲ほど歌います。

【日時】3月6日(火)13時

【会場】船越公民館視聴覚室

【参加料】無料

▼問い合わせ／船越公民館

☎35-2210

青年国際交流事業に参加しませんか

内閣府では、世界各国の青年との交流を通して、相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を身に付け、次代を担う青年を育成するために、青年国際交流事業を実施しています。

【平成19年度実施事業の募集】

◆国際青年育成交流／8～9月実施

◆日本・中国青年親善交流／8～9月実施

◆日本・韓国青年親善交流／9月実施

◆世界青年の船／平成20年1～3月

◆東南アジア青年の船／10～12月実施

◆対象年齢／18歳～30歳まで

▼問い合わせ／秋田県生活環境文化庁県民文化政策課青少年育成班

☎018-837-8095

お知らせ

水中タイムマシン展

一ノ目潟湖底の神秘を探る

秋田県では、約9000年前に形成されたといわれる一ノ目潟を、当時の環境を理解するために、湖底を掘り下げた地質調査を行いました。

この企画展示は、探掘作業を中心とした一番初めの段階を紹介いたします。

【主催】秋田県

【期間】5月7日(月)まで

【会場】男鹿水族館G A O 2階企画展示室2

【料金】入館料に含みます

▼問い合わせ／男鹿水族館G A O

☎0185-32-2221

家畜巡回検診

【日時】2月28日(水)10時～

【内容】家畜の健康管理や胎児の確認など。

【検診料】無料

【申込期限】2月26日(月)

▼問い合わせ／農林水産課

☎23-2111内線2206

家庭用包丁の無料研磨

船川建設技能組合では、次の日程で家庭用包丁の無料研磨を行います。これは、大工・板金・建具・左官などの技能者で構成する同組合が、市民の皆さんに日ごろの感謝を込めて毎年行っているものです。お気軽においでください。

【日時】 2月18日(日)

9時30分～11時

【会場】 船川港公民館

※なた、かま、はさみの研磨は行いません。

▼問い合わせ／

船川建設技能組合 戸嶋

☎24-2263

大型免許技能試験を受ける方へ

秋田県運転免許センターでは、免許試験の円滑化を図るため大型運転免許技能試験の受講希望者について、予約制を実施することにしました。運転免許センターで行う1日の技能試験には限りがあります。ご協力をお願いします。

【予約の受付開始日】

平成19年3月1日(木)から

【受付時間】 8時30分～16時

※土・日・祝日、年末年始の休日は除きます。

【受付窓口】 秋田県運転免許

センター1階50番窓口

▼問い合わせ／

秋田県運転免許センター

☎018-862-7570

女性相談・法律相談会開催

女性の抱えるさまざまな問題に弁護士や心理担当職員、女性相談員がお応えします。相談内容についての秘密は守られます。また、相談の内容により専門機関を紹介しますので、お気軽にご相談ください。

【期日】 2月21日(水)

【会場】 秋田県女性相談所

(秋田市手形住吉町4-26)

【内容・時間】

心理相談／10時～15時

法律相談／13時30分～15時30分

女性相談／10時～15時

【相談料】 無料

※相談はすべて予約が必要で

す。(法律相談4名、心理相談2名、女性相談4名)

▼申し込み・問い合わせ／

秋田県女性相談所

☎018-835-9052

自動車の登録手続き

年度を待たずにお早めに！

例年、年度末になると運輸

支局の自動車検査・登録窓口

は大変込み合います。特に3

月中旬以降は、軽自動車課税

基準日(4月1日)前に、名

義変更や抹消手続きを行う方

々による駆け込み申請や、車

検車両の増加などから、皆さ

んには長時間お待ちいただく

状況になっています。

自動車登録の諸手続きを予定している方々は、年度末前の比較的混雑の少ない3月上旬ごろまでに手続きするようお願い

します。

※登録手続きに関するの問い

合わせは、ヘルプデスク(登録

手続き案内)をご利用くだ

さい。

▼問い合わせ／

東北運輸局秋田運輸支局

☎050-5540-2012

中高年齢者就職面談会

秋田ハローワークでは、次のとおり、中高年齢者就職面談会を開催します。多くのご参加をお待ちしています。

【日時】 3月6日(火)

13時30分～16時

【会場】 秋田ビューホテル

【対象】 仕事をお探しの方

※おおむね40歳以上の方

【参加方法】 履歴書を持参し、

直接会場にお越しください。

【参加料】 無料

▼問い合わせ／

秋田ハローワーク

☎018-865-2390

国民年金保険料の出張納付相談会開催

相談会では、保険料の領収

のほか、過去の年金加入期間

の確認、保険料の分割納付相

談、保険料免除申請などに応

じます。

なお、相談対象者にはあ

らかじめ「国民年金保険料集

徴収(年金相談)案内状」を

ハローワーク秋田紹介第2部門

☎018-864-4111

国民年金保険料の出張納付相談会開催

相談会では、保険料の領収のほか、過去の年金加入期間の確認、保険料の分割納付相談、保険料免除申請などに応じます。

【期日】 2月25日(日)26日(月)

【時間】 13時～20時

【会場】 船川港公民館、若美

コミュニティセンター

▼問い合わせ／秋田社会保険

事務所 国民年金第一課

☎018-865-2390

シイタケ、ナメコのほだ木・種駒をあっせん

男鹿森林組合では、シイタケ・ナメコのほだ木・種駒をあっせんしています。

また、松苗、杉苗の注文も

受け付けています。

希望される方は申し込みく

ださい。

▼問い合わせ／男鹿森林組合

☎23-3525

訃報

市功労者の吉田仁誠さんが、2月6日にご逝去されました。吉田さんは、長年、書家として書道の普及向上に努め、芸術文化の発展に貢献され、平成11年3月に教育功労者として表彰されております。心よりごめい福をお祈りいたします。

訃報

市功労者の三村栄一さんが、1月24日にご逝去されました。三村さんは、昭和47年9月から昭和51年5月までの3年8カ月間若美町収入役を、また、昭和55年10月から昭和62年7月までの6年9カ月間若美町助役として地方自治の推進に寄与され、昭和58年11月に自治功労者として表彰されております。心よりごめい福をお祈りいたします。

ふるさと地名散歩

地名の由来を訪ねて

23

鵜木

角間崎の北側にある集落が鵜木です。集落上の台地には桜の名所で名高い館山近隣公園、これに隣接する若美中央公園球場、若美スキー場、若美総合体育館などの施設があります。



桜の名所館山近隣公園

江戸時代には周辺6か村の親郷と

なり、中石、福米沢、福川へ通じる駅場村でした。また、当時の記録には「男鹿第一の豊かな村」と記載されていました。八郎潟西岸の拠点の1つとしての鵜木が浮かび上がります。その証拠に、ここには古い館跡といわれる所が2カ所あるほか、石碑や稲荷神社には親杉と呼ばれる古木が残っています。

この大淵家は、安東氏支配まで歴史を伝える旧家で、江戸時代の文政7年(1824)には、藩主佐竹義隆が男鹿地方を巡覧の際、大淵家を本陣としています。

ところで鵜木ですが「卯の木」と書かれているものも多いです。命名の由来というと、鵜木の官林に鵜が営巣、群集して生息していたのが元だと「若美町史」で述べられています。木が柵(館)跡を表す柵(き)から変化したとの説も捨てがたいと思います。

交通安全情報

1月中の交通事故の発生状況

	平成19年		平成18年	
	1月	累計	1月	累計
発生件数	6	6	7	7
死者数	0	0	0	0
負傷者数	9	9	8	8

早朝・夜間の外出の際は、反射材や明るめの服を着用しましょう。歩行者から車はライトの明かりで見えますが、運転手から歩行者は見えにくくなっています。ライトと反射材で互いの位置を確認し、事故防止に努めましょう。

納期限です、お忘れなく!!

平成18年度
固定資産税第4期・国保税第8期・介護保険料第8期

納期限
2月28日(水)

編集くらげ

▼皆さんは「デコトラ」をご存知ですか？これは、豪華な装飾をしたトラックのことです。このトラックが市内各地を走る姿などが映し出された映画が完成しました。映画の中では、男鹿と東京の街並みが映し出され、東京にはない男鹿の自然の豊かさを改めて実感しました。今後、全国各地で上映されます。映画を通じて一人でも多くの方々に「男鹿の自然・人・食」を見ていただきたいと思いました。(貴)

▼男鹿市雪合戦大会に行ってきました。これは雪玉を丸めて投げ合う遊びがニユースポーツとして確立されたもので、室内ではお手玉のような室内球を使用します。1試合で投げられる球の数が決まっています、やみくもに投げては球切れを起します。四方八方から飛んできるとも注意が必要です。初めて見ましたが、スピード感あふれるとても奥深いスポーツでした。(愚)

市の人口と世帯数

平成19年1月31日現在
(住民基本台帳による)



◆人口 35,312人
男=16,711人
女=18,601人

◆世帯数 13,284世帯

地区名	人口	世帯数
船川	8,096人	3,336世帯
椿	1,019人	386世帯
戸賀	645人	287世帯
北浦	3,678人	1,443世帯
男鹿中	1,647人	696世帯
五里合	2,010人	642世帯
脇本	5,242人	1,881世帯
船越	5,921人	2,193世帯
若美	7,054人	2,420世帯

広報に対するご意見、ご感想をお寄せください。

FAX: 0185-23-2922 Eメール: p_relations@city.oga.akita.jp